

【松江市】 県内高校卒業生とのつながり創出モデル事業

【概要】 「ゆるやかなつながりづくり事業」と「キャリアを意識したつながりづくり事業」という2つのテーマの事業を実施することにより、新卒としての松江市内就業や、将来的な転職、テレワークによるUターンでの市内就職につなげる。

【実施体制】

担当課：産業経済部定住企業立地推進課

連携先：まつえ産業支援センター（起業）、教育委員会、
青少年支援センター（はたちの集い）、魅力
化コーディネーター（松江南、松江商業）

外部委託（委託先調整中）

【目的・ねらい】

進学前の高校3年生から就職活動を迎える大学3年生まで、一貫通貫した情報提供やアプローチにより将来的なUターン志向を醸成する。

- ① 出身学生との接点づくり
 - ・キャリアだけでなく多様なジャンルでの交流
- ② ふるさと再発見
 - ・地域プレーヤーや先進的事業の実践者との交流
- ③ キャリア形成
 - ・就職活動や企業に必要な知識・技術のセミナー

【事業内容】

1. しまね登録を活用した情報発信

2. ゆるやかなつながりづくり事業

- (1) 地域団体や地域プレーヤー、関係人口との交流イベント
 - ・協力隊OBや起業家、県外の関係人口などをゲストに迎え実施
- (2) スポーツやエンターテインメントなど趣味を通じた交流・体験イベント
- (3) 高校3年生を対象とした壮行会
- (4) 学生主催事業支援

3. キャリアを意識したつながりづくり事業

- (1) 市内におけるワーケーション参加企業へのインターンシップ
 - ・市内でのテレワーク就業が可能な企業（日本マイクロソフト、ヤフーなど）
- (2) 働き方、今後のキャリアを専門家より学ぶセミナー
 - ・就活に活かす様々なスキル習得や地元経営者とのパネルディスカッション
- (3) デザイン思考などのフレームワーク習得のワークショップ

【事業費】 R4～R7（4年間）

28,000千円

【つながり創出の目標値】

～就活期に情報を届けられる学生数～

R4	R5	R6	R7	備考
242人	747人	1,502人	2,366人	R7時点：進学者（全体の7割）に対する割合は63.3%
4.2%	13.2%	27.9%	44.3%	

[出雲市] 県内高校卒業生とのつながり創出モデル事業

【概要】 高校3年生から大学3年生を対象に、学生と地元とのつながりを創出、維持しながら地元就職機運を醸成し、将来の地元就職につなげるため、3つの事業「高校生対象事業」「大学生対象事業」「学生就職支援窓口の設置」の取組を行う。

【実施体制】

担当課：経済観光部産業政策課

連携先：市内高校・県内外の大学・県学生就職アドバイザー、ハロワーク、産業政策課UIターン就職窓口、出雲地区雇用推進協議会

【目的・ねらい】

山陰12市の中で唯一の人口増加を果たしていながら、人手不足が続いている企業も依然として多くあり、労働力確保が課題となっている。一因として高校卒業後に県外大学等に進学した学生の地元就職率が低いと考えられるため、高校在学中から大学就活期までの間、学生とのつながりを構築し、地元就職機運の醸成を図り、市内就職率をアップする。

【事業内容】

1. 大学生地元就職支援事業

- (1) 出雲で働き、暮らす人との交流会
- (2) 県外大学での出張相談
- (3) 大学生対象企業見学会
- (4) 県外大学訪問
- (5) いずも学生登録

2. 高校生地元就職支援事業

- (1) 地元企業の出前講座
- (2) 高校生対象企業見学会
- (3) 市内高校訪問

3. 学生就職支援窓口事業

- (1) 学生就職サポーターによる支援
- (2) LINEを活用した情報発信及び相談対応

【事業費】 R4～R7（4年間）

25,451千円

【つながり創出の目標値】

～就活期に情報を届けられる学生数～

R4	R5	R6	R7	備考
500人	1,000人	1,500人	2,100人	
15.2%	30.3%	45.5%	63.6%	

[益田市] 県内高校卒業生とのつながり創出モデル事業

【概要】 卒業生に継続的に情報を届ける体制を基盤とし、帰省のタイミング等を活用した地元プログラムを実施するとともに、居住する地域で気軽に集まる体制を整える。

【実施体制】

担当課：政策企画課・連携のまちづくり推進課
産業支援センター、協働のひとづくり推進課
連携先：益田市未来の担い手育成コンソーシアム
（事務局：教育委員会協働のひとづくり推進課）
一部外部委託（委託先調整中）

【目的・ねらい】

ふるさととのつながりを創出・継続する事業を実施することで、益田に志やミッション（やりたいこと）を掲げて帰ってくる人材の増加を目指す。
事業期間終了後は、本モデル事業を継続し、事業の実施によりふるさとで活躍する友人に影響を受け、益田での暮らしや市内就職を選択する若者の増加につなげる。

【事業内容】

- オンラインでつながる事業
SNSを活用したコミュニティづくりと必要な時に必要な情報が届く体制の整備
- ひとづくりでつながる（つながり続ける）事業
(1) 地域の担い手づくり・・・地域自治組織での探求活動
(2) 産業の担い手づくり・・・企業訪問バスツアーの実施、
益田版インターンシップ制度の導入、
大学生起業家育成プログラムの検討
(3) 未来の担い手づくり・・・「対話」を重視したプログラムの実施
- 東京・大阪拠点でつながる事業
(1) 県外活動拠点（東京及び大阪）候補地の視察
(2) 県外活動拠点での活動内容の検討及び既につながりのある出身大学生への
プレ実施・意見交換
(3) 県外活動拠点の整備

【事業費】 R4～R7（4年間）

28,000千円

【つながり創出の目標値】

～就活期に情報を届けられる学生数～

R 4	R 5	R 6	R 7	備考
人	520人	990人	1,457人	
%	35.0%	67.0%	100.0%	

[雲南市] 県内高校卒業生とのつながり創出モデル事業

【概要】 「高校卒業生に対する連絡情報の取得」や「定期的なプログラム開催等を通じたふるさとへの想い（帰属意識）の維持・醸成（あらたなコミュニティづくりを含む）」に取り組む。また、卒業生が雲南市を離れても何らかの形で「雲南市のチャレンジ」に関わり続ける仕組みづくりを構築する。

【実施体制】

担当課： 政策企画部（移住定住・関係人口担当）・教育委員会（教育魅力化担当）・産業観光部（商工振興担当）による推進体制
連携先： 雲南市ふるさと定住推進協議会、雲南コミュニティハイクールコンソーシアム、雲南市ふるさと会、市内企業
外部委託（委託先調整中）

【目的・ねらい】

高校進学時に約3割が市外に進学し、高校卒業時に5割を超える者が県外転出している状況のなか、高校卒業後の動向（ニーズ）把握や人材還流に向けた効果的な打ち手の検証・実践を図る。また、高校卒業生とのつながりづくりによる政策課題の解決に加えて、若い世代のコミュニティづくりや、市内企業との連携による高校世代への取組の深化、既存のふるさと会（東京・近畿・広島）等との連携など、世代を超えたネットワーク構築を図ることで、他の施策との相乗効果を図る。

【事業内容】

1. 高校卒業生の情報獲得・管理できる仕組みづくり
LINEへの登録促進や連絡情報の取得

2. 高校卒業生のコミュニティ構築
(1)高校&スペシャルチャレンジ（子ども）卒業生コミュニティの組成
(2)必要な情報をしっかり届けられる体制の整備
(3)市内の企業の挑戦事例や新しい働き方、生き方を実践している人などの内容をメディア化し、情報発信

3. 定期的なプログラムの提供
(1)都市部での交流会（ふるさと会との連携）
(2)Uターンだけでなく、市外にしながら多様に関われるプログラムの構築

【事業費】 R4～R7（4年間）

12,000千円

【つながり創出の目標値】

～就活期に情報を届けられる学生数～

R 4	R 5	R 6	R 7	備考
30人	186人	361人	567人	しまね登録の活用も検討
100.0%	60.0%	65.0%	70.0%	

[川本町] 県内高校卒業生とのつながり創出モデル事業

【概要】 卒業前からの取り組みとして、ふるさと教育、あそラボ事業、キャリアLabo事業、夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業といった在学時関係作りづくり事業に取り組む。また、県外大学等へ進学した卒業生の町の近隣企業への就職促進を目的とした事業に取り組む。

【実施体制】

担当課： まちづくり推進課

連携先： 教育課（川本・川本中学校）、まちづくり推進課（島根中央高校）、かわもと暮らし（移住・定住についての総合相談窓口）、近隣企業、ふるさと島根定住財団、ハローワーク

【目的・ねらい】

学校と地域が協働して町全体で子どもを育てるといった川本町ならではの強みを活かし、これまでに築いてきた卒業生との関係性を基に、島根中央高校卒業後、県外大学等へ進学してから就職活動期までの間、川本町とのつながりを維持し、川本町周辺での就職を意識付け、町内及び近隣企業への就職促進並びに川本町への回帰につなげる。

【事業内容】

1. LINE情報発信事業

「かわもと暮らし」が管理するLINEアカウントを活用して、イベント情報・町と母校の様子や恩師からのメッセージなどの動画・企業情報・キャリアコンサルタントによるキャリアデザインに関する情報の発信

2. 関係人口への取り組み事業

「かわもと暮らし」が活動拠点として入り、卒業生に対し町で実施する各種イベントへのスタッフ対応や祭りでの出店対応といった川本町との関わる機会を創出し、卒業生へ参加を呼びかけることで、川本町へ帰るきっかけを提供し、つながりを維持する。

3. 卒業生交流会開催事業

関東、関西、広島、県内の4ヵ所で卒業生を集めた交流会を実施し、同級生との交流を図るとともに、「かわもと暮らし」や企業の人事担当者も参加し、卒業生と企業のマッチングと交流を図る。

4. 県内就職促進事業

企業とのマッチング、インターンシップ実施促進

【事業費】 R4～R7（4年間）

26,700千円

【つながり創出の目標値】

～就活期に情報を届けられる学生数～

R4	R5	R6	R7	備考
89人	156人	216人	217人	
37.1%	67.0%	100.0%	100.0%	

〔津和野町〕 県内高校卒業生とのつながり創出モデル事業

【概要】 大学等卒業後の新卒採用によるＵターン移住を見据えて、県外在住の卒業生に対し津和野町の情報を発信し、継続的な接点をつくる。また、町内企業による事業説明会やＩＴ講座等を実施する事で、企業との接点を持ち、卒業後の就職及びＵターン移住を促進する。

【実施体制】

担当課：つわの暮らし推進課

連携先：津和野町定住担当、津和野町企業支援担当
外部委託（民間組織）

【目的・ねらい】

大学等卒業後の新卒採用によるＵターン移住を見据えて、県外在住の卒業生に対し津和野町の情報を発信し、継続的な接点をつくる。

また、町内企業による事業説明会やＩＴ講座等を実施する事で、企業との接点を持ち、卒業後の就職及びＵターン移住を促進する。

【事業内容】

１．津和野高校公式ＬＩＮＥアカウント登録推進及び情報発信事業
(1) 各卒業生の連絡先情報の蓄積及び情報発信体制の構築
(2) 情報発信

２．津和野町内でのプログラム実施事業
町内企業の現地プログラムの実施
①町内企業訪問の実施
②ＩＴ誘致企業の企業訪問における業務内容の説明とＩＴプログラミング講座等の実施
③商工会青年部等若手事業者との意見交換会の開催

３．津和野町内企業による東京・大阪でのセミナー実施事業
町内に誘致したＩＴ企業によるセミナーの実施
①実施回数は東京・大阪各２回し、時期は１０月と１月の予定
②各企業の業務内容紹介の他ＩＴプログラミング講座を実施
③企業担当者との意見交換による、業務内容の理解と学生とのつながりの深化

【事業費】 R4～R7（４年間）

13,973千円

【つながり創出の目標値】

～就活期に情報を届けられる学生数～

R 4	R 5	R 6	R 7	備考
50人	80人	125人	165人	
28.6%	46.0%	61.3%	71.7%	